

広報 あさひ

— 今月のおもな記事 —

- 年頭の辞……………(2)
- あさひ国民休養地事業…(3)
- 第四回朝日町議会
ポスター掲示場設置…(4)(5)
- 馬年生まれの
アンケート……………(6)(7)
- 審議会答申でる……………(8)
- 53年度の転作について…(9)

昭和53年1月10日発行 発行所 朝日町役場 ☎ 07658 3-1100 〒939-07 昭和32年8月8日第3種郵便物認可 定価25円 印刷 両越印刷



— 子供の伝承遊び —

おてたま

お一つ お一つ かあやして

お二つ お二つ かあやして

お三つ お三つ かあやして

お四つ お四つ かあやして

おしてん はらうん

いっちょよ 二ちょよ 三ちょよ

四ちょよ 五ちょよて お一つ

賀 正



朝日町長
中川 雍 一

あけましておめでとうございます。昭和五十三年を迎えました。時の流れ、世の移りには少しの間もありませんが、新年ともなれば、どなたにとっても、来し方と行く末をあらためて見定める、ひきしまった気持ちを覚えさせるものがあります。久しぶりの一家団欒も多でありましようが、なかには身体の都合や、仕事のことや、思いがけない不幸に見まわれたお気の毒な方々も少なくはないと思います。どうか元氣を出して新しい年を踏み出して下さい。上を向いて歩こう、前へ向って進むうちはありませんか。不況、社会不安、不正と名のつくいろいろの出来事などが毎日のニュースになる近頃の世の中でありませぬ。これではいけないと誰もが思っています。政治の責任の大きなことは勿論ですが、みんなが自分だけを別にして、なすり合いばかりしていても世の中はよくありません。経済的には冷えびえとした世相ではありますが、「物」ばかり

が全てではありません。「心」を豊かにすることも大切です。過ぎた年は過ぎたものとして、昨年よりは今年の方が少しでもよい年になるようにそれぞれの立場で努力してまいりたいものです。

今年には水田利用再編成といった非常に困難な課題を抱えておりますし、景気の具合から町の財政見直しも明くるはありませぬ。しかし政府は公共事業によって需要の拡大をはかり景氣を浮揚させようとしており、これに期待したいと思っております。

さて本年要望しておりました小川のダムが今年から着工の見通しになりました。このダムは洪水調節を目的として調査をはじめたのですが、水資源の活用をもあわせて組み入れる可能性もあり、町の基礎的な大事業として将来におよぼす効果は大きいものといえます。

また宮崎浜から城山―笹川―三峰―棚山―元湯―北又谷と町の山手を一貫する林道が完成します。国民休養地―自然公園―国立公園という朝日町の素晴らしい財産に新しい光があられることになりました。農村総合モデル事業、農道舗装、境バイパス、宮崎漁港、林道構造改修事業も大いに進捗しますし、新しく消防庁舎、

老人福祉センター、上の山展望センター、遺跡公園なども建設する予定であります。北陸自動車道は富山方面から次第に東へ進んできており今年には用地買収が促進される筈であります。狭い町であり、対象となる地権者の方々には大変な御迷惑もあらうかと存じますが、御協力をお願いいたします。またこの自動車道の糸魚川までの計画路線も遠からず発表されます。とくに今年には、小中学校の統合の第一歩を踏み出したという考えであります。明治初年以來の学校の配置は百年の使命をはたし、ここで新しい世紀に向っての体制をあらためて考える必要があると思っております。もちろん短い年月で仕上がることはありませぬが、出来ることから順番に着手すべきだと考えております。町民の皆さんの御理解と御協力を是非いただきたいと存じます。



朝日町議会議長
扇谷 隆 二

明けましておめでとうございます。昭和五十三年の年頭にあたり、町議会を代表し、町民の皆様のご繁栄を心からお祝い申し上げます。

昨年は、二百海里水域漁業問題や貿易の不均衡による円高問題などが国の経済にも多くの問題を投げかけ、巳年の幕がおりました。まことに多難な年であったと思うのであります。

今年こそは何とか明るい年になってほしいものであります。

わが少年の日と馬

—— 午歳に因んで ——

広 川 親 義

少年のわれを田ん圃にふり落し馬はことなげに径の草食む

背伸びして頸たたきやれば応うがにわれにやさしく面寄せて来し

伯業に騙されては年に二度三度と馬を買い替えし馬好きな父

午歳に生まれしもうべ汝が歯並み馬に似たりとからかいし母

天馬空をゆく絵など描き夢多き少年われや今の凡骨

(北日本歌壇遊者)

朝日町が発足してから既に二十数年になります。町民の皆様の熱意とご理解あるご協力によりまして、町政は着々と進展いたしてまいりました。

しかし、本町がより大きく躍進するためには画期的な事業が成し遂げられていかなければなりません。多年の願望であります電源開発をはじめ、北陸自動車道や大規模林道の開設、さらには観光開発など、豊かな自然環境を保全しながら町のもてる資源の開発をして行くことこそ重要かと思うのであります。

また町民生活の安定と福祉の増進をはかるためには、今後、多くの重要問題が山積しているのであります。とくに教育行政(学校の統合)、農業行政(水田利用再編対策)さらには土木行政(都市計画)ならびに公害問題など、その他多くの施策も講じなければならぬのであります。

これらの解決をはかることが、われわれに課せられた責務であり、関係機関と相まって最大の効果があがるよう、努力をしていかなければならないと思うのであります。

昭和五十三年は、本町より一層躍進の年として町政の内容充実に最大の努力を傾注いたしますとともに皆様に対し、ご理解とご協力をお願いし、ともに町勢の発展にまい進いたしたいと考えるのであります。なにとぞ一層のご支援をお願い申し上げます。

おわりにあたりまして皆様のご健康とご多幸をお祈りし、年頭のごあいさついたします。

総事業費2億8000万円

4年計画でスタート あさひ国民休養地事業

あさひ国民休養地事業は、富山県が城山、上の山台地一帯を環境庁より国民休養地の指定を受け、四年計画で、各種の野外レクリエーション施設を総合的に整備し、レクリエーションの多面的利用と利用時間の延長を図るものです。(総事業費二億八千万円)

五十二年度は、四年計画の初年度にあたり、芝生広場、植樹、便所、給排水施設等が完成しました。(初年度事業費 三千三百万円)

翌年度以降は、休憩所、野外ステージ、運動広場、アスレチック施設が整備、設置されるほか、富崎海岸と城山を有機的に結びつけるためのリフトや駐車場の設置が計画されています。当地域はクふるさと歩道でハイキングコースとしてにぎわい遠く新川平野や富山湾が展望できるなど、すぐれた景観に恵まれると共に、自然科学や歴史学上の宝庫としても今後の利用が多いに期待されます。

(写真は完成なった芝生広場)



三枚橋・坊地内に 防火水槽完成

住みよい町づくりを目指して農村総合整備モデル事業が着々と進行しています。

このほど三枚橋、坊地内に防火水槽が完成しました。

《農村総合整備モデル事業》

当事業計画では、町内に五十トン防火水槽が十六基建設が予定されていますが、三枚橋、坊地内にはトリアを切って建設されたもので地元住民は火災にもこれで大丈夫とひと安心。(写真は坊地内の防火水槽)



栄えある数々の表彰

叙勲の栄誉

五十二年秋の褒賞で、朝日町出身の寺内秀夫、米津健次の両氏が勲六等単光旭日章、勲七等瑞宝章をそれぞれ受賞されました。

勲六等単光旭日章

寺内秀夫氏(山崎新出身)

(現住所) 東京都千代田区麹町四の二

勲七等瑞宝章

米津健次氏(山崎新出身)

(現住所) 富山市牛島本町二の十の二十三

△功績▽ 三十六年にわたり、電力関係業務に従事され、水量、気象調査に尽力された功績が認められたものです。

人権擁護委員に

上田憲二氏

朝日町の人権擁護委員に上田憲二氏(桜町)が就任されました。

文部大臣表彰

このほど永年学校教育の振興に功績のあった、野田親治氏が文部大臣表彰を受賞されました。



野田親治氏 (60歳)

荒川四七

△功績▽ 野田氏は現在、県立富山工業高等学校長で、また富山県高等学校々長会長などの要職にあつて本県高等学校教育の振興、充実に尽力された功績が認められたものです。

年金クイズ発表

◇正解者◇

坂藤 重雄 坂藤 美和子

△解答▽ (1)ア20才、(2)イ任意加入者

(3)ア強制加入、(4)ア強制加入

(5)アできる、(6)ア強制加入、(7)ウ本人・配偶者・世帯主、(8)ア

2年、(9)イ10年、(10)ア強制加入者、(11)イ65才、(12)イ妻、(13)イ1

・2級、(14)ウ終身、(15)ア保険料

納入済と免除期間、(16)イ住所地の市役所か町村役場

補正予算・条例改正など審議

第四回朝日町議会定例会

ありまし

昭和五十二年第四回朝日町議会定例会は、十二月十五日から二十日まで会期を六日間として開会されました。

本定例会では、昭和五十二年度朝日町一般会計、特別会計の補正予算をはじめ、条例の一部改正など十六議案についてそれぞれ審議され可決しました。

このほか、請願、陳情五件の決定、議員提出議案について可決しました。

審議日程

12月15日 開会(会期の決定、町長提案理由の説明)

12月16日 本会議(質疑、一般質問)

12月17日 文教厚生委員会

12月18日 産業建設委員会

12月19日 休会

12月20日 文教厚生委員会

12月20日 総務委員会

12月20日 本会議(各常任委員長の審査報告、同報告に対する質疑・討論・表決)

12月20日 日程の追加(議員提出議案)

▼予算(いずれも昭和五十二年度補正予算)

企業会計

朝日町立泊病院事業会計補正予算(補正額七百七十万円)

▼条例(一部改正)

朝日町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例

朝日町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例

朝日町長、助役、収入役の給料及びその他の給与支給条例

朝日町教育委員会教育長の給与に関する条例

朝日町職員の給与に関する条例

朝日町職員の特種勤務手当に関する条例

朝日町国民健康保険直営診療所設置条例(新設条例)

朝日町生活改善センター設置条例

▼議員提出議案

療術のもぐり業者制度化反対に関する意見書

請願・陳情

採択になったもの

新川地区精神薄弱者収容施設新設について

保育所通園児に対する通園バス設置等の助成について

老人福祉センター建設について

身体障害者福祉について

昭和五十三年度小・中学校費について

継続審査になったもの

療術の制度化阻止及び違法行為の取締り強化について

療術の制度化促進に関する協力方について

小更地内農道の改良と町道への格上げについて

常任委員長報告より

総務委員会

付託案件について審議した結果、一般会計補正予算、条例改正等については、原案のとおり可決とされた。

なお審査の過程において、消防庁舎の建設については設備、規模等将来をよく検討し、計画されたい。また町政バスについてはできるだけ、各種団体等に対し利便をはかってほしい。

文教厚生委員会

付託案件等について審査をした結果、補正予算及び条例改正については原案のとおり可決とされた。

なお、審査の過程において、教育委員会に所管する事項として、学校給食燃料費の補助率を引き上げるよう、また学校給食について、米飯希望児童が比較的多いことから、現在の米飯八日、めん類八日、パン四日の組み合わせを検討するよう、住民課所管に関するものとして、簡易水道について、地下水の不足から、表流水をとり入れていくところがあり、これらの設備の改良に要する資金(補助率の見直し)を検討するとともに町としての上下水道の問題について

も早急に対応策を樹立されるよう、要望する。請願などについては、「療術の制度化阻止及び違法行為の取締り強化について」と「療術の制度化促進に関する協力方について」の二件はなお調査の必要があり、継続審査と決定。「精神薄弱者収容施設新設について」「通園バス設置等の助成について」「老人福祉センター建設について」「身体障害者福祉について」「昭和五十三年度小・中学校費について」の五件は、妥当として、それぞれ採択と決定。

産業建設委員会

付託案件について審査した結果、補正予算については、原案のとおり可決とされた。

なお、審査の過程において、中の川添い道路(国道八号線から役場横まで)が最近交通量が増え、しばしば交通渋滞が生じているので、これらの対策を検討のうえ、工事の促進をはかられたい。小更農道の改良等に関する陳情については、関係機関とのおお、せつしょうの余地があり、継続審査とする。

一般質問の中から

上水道、下水道について

質問 水不足が問題になっていくが、上水道、下水道の具体的構想を伺いたい。

答弁 上、下水道については、調査など具体的な対策を構構する予定措置などもすべきと考えている。ただし、

工事実施まで年月を要する。

学校統合について

質問 学校教育環境整備審議会の答申に対しての考えを聞きたい。

答弁 学校問題については、住民のコンセンサスを得ながら再編にとりくんで行きたい。答申についてはその趣旨を十分受け入れていくつもりである。

水田利用再編

対策について

質問 水田利用再編対策による農産物の価格補償、流通機構に対する考えを聞きたい。

答弁 価格補償、流通機構の問題については、関係機関や団体を通じて働きかけを行かなければならない。

保健センターの

設置について

質問 健康づくりの一環として保健センターの設置についてどのように考えているか。

答弁 健康づくりを实行するためにも根拠地が必要である。近いうちに具体化させて行きたい。

福祉金の増額について

質問 身体障害者福祉金を増額する考えはないか。

答弁 福祉金の対象範囲を拡大している。また、物価の変動に対する分

は考えて行きたい。

公共事業の

実施について

質問 不況対策として公共事業の実施をはかってほしい。

答弁 財源を最大限に確保し、公共事業をやる決心は堅くもっている。

朝日発電について

質問 朝日発電に関する調査は、どの程度進んでいるか。またその資料はあるか。

答弁 正式に調査命令が下っていないので資料がない。町においても資料による研究段階に至っていない。

農業後継者

育成について

質問 農業後継者育成施策として新川広域圏内に農業専門学校を設立する考えはないか。

答弁 学校を卒業しても農業に直接してない者が多い現状である。後継者育成予算は計上しており、特定のものには援助を強化して行きたい。

図書館の

運営について

質問 図書館の利用者が増えているので特別室など個室の利用ができるか。

答弁 建物全体の中で使いやすい部屋を利用できるよう考慮したい。

検察審査員の

選任について



選挙管理委員会では、検察審査員候補者の選定を行っています。

一般にはまだなじみがうすいせい、選定方法やその事務に関する問いあわせが多いのでこの制度の概要をご紹介します。

- △名称▽魚津検察審査会(魚津、黒部、朝日、入善、宇奈月の各市町)
- △事務▽検察官が起訴しなかった事件の適否や、検察官の事務改善に関すること。
- △組織▽くじで選ばれた十一人で構成。
- △資格▽衆議院議員選挙の選挙権を有する者。
- △選挙方法▽①各市町でくじ(無差別抽出)により候補者を選定②各市町より申請のあった候補者の中から検察審査会事務局長が再びくじで選定。

なお五十三年度の朝日町の候補者は五十七名です。詳細は朝日町選挙管理委員会へお問い合わせください。(番三 一一〇〇内線十五番)

ポスター掲示場設置 町長・町議会議員選挙

明るい選挙の

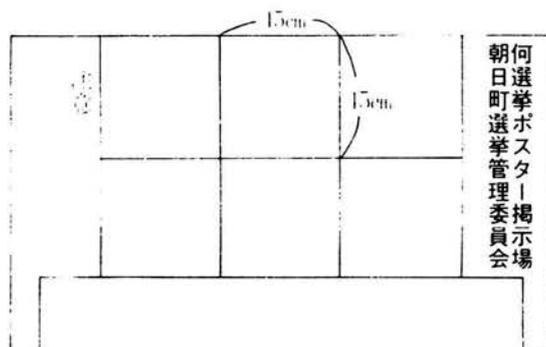
実現に向けて

朝日町ではこのほど、公営選挙ポスター掲示場の設置に関する条例が制定されました。これは選挙のつど町内随所に選挙ポスターが林立し、美観を損ねることや、ポスターの掲示依頼に便乗する違反の掃をほかり、明るい選挙の実現を目的として議員提案により全会一致で議決されたものです。

本条例の制定に伴い、次回の町長町議会議員選挙からポスター掲示場が設置されますが、候補者各位、ならびに有権者のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

なお、ポスター掲示場の概要は次のとおりです。

- (1) 掲示場の設置、管理 朝日町選挙管理委員会
- (2) 掲示場の数及び場所 掲示場は一投票区につき一箇所以上とし、設置場所は選挙管理委員会が決定
- (3) 掲示期間 立候補届出が受理されてから選挙期日まで
- (4) 掲示場の形態 別図



なお詳細については朝日町選挙管理委員会へお問い合わせください。(番三 一一〇〇内線十五番)

朝日町人事異動

新 自治大学 校派遣
旧 総務課庶務係 主任

谷口昌且

(昭和五十三年一月一日付)



天馬空を駆ける

ことしのえとは、戊午「つちのえうま」で、俗に言ううま年である。

馬は陽性の動物で、古い時代から騎乗用として野性から飼い馴らされ交通機関としての役割りを果たし、戦後までは輸送や農耕に利用し、愛されてきた。

平安時代の中期までは、生きた馬を豊穰祈願や感謝の意味で神に奉納することが行われたが、それ以降は絵師に絵馬を描かせて代納するようになった。

近年この絵馬の奉納は極めて少なくなってきたが、これは、旅行、船出、病氣平癒、勉強、開業、開運などのもろの祈願をこめて奉納されたものである。

また馬は、幸運をもたらす天馬、神馬として祀られると共に石仏の馬頭観音として江戸時代から道中安全祈願のために、道路の傍に建てられ

たものも少なくない。

円高不況の風が吹きまくる中で迎えた新年、ウマくない話は過去に追いやって、そう簡単にウマいことにはならぬと思うが、「幸運をもたらす天馬よ、早く日本中を駆けめぐれ」と心から祈りたい。

ことしも町民のみなさんの中から午年生まれの方々を選んでアンケートをいただいた。
問題はあまり変りばえがしないが回答された方々の内容について、それぞれの立場から、その背後にあるものを汲みとっていただければ幸いです。

アンケート要旨

●年男、年女としての抱負は

●朝日町の魅力について

●今年町政に望むこと



会社員
勝田 見一
昭和29年生
(町南保)

●年男という事では、別に無いが、「己に厳しく、他人には寛大に」、「自己啓発」。これを実行できればと思う。「ANJI」のコピー。
●特に感じない。平凡な町と思う。これからの長いつきあいで、わかってくるだろうという楽しみが魅力である。

●「町民の、町民による、町民のための政を。」
(誰か、前に言った言葉のようにな

がする。)



事務員
居波由美子
昭和29年生
(荒川5)

●年女だからといって特に意識していませんが、新しい年を迎え昨年以上に社会人としての努力をし、充実した一年にしたいと思っています。
●自然に恵まれた町であると共に、昨年完成した朝日町民総合体育館を利用して、体力づくりを目的とする町ぐるみのスポーツが盛んになってきた事はほんとうにすばらしい事だと思えます。

●車を利用する人が増加している現在、都市計画道路と共に、商店街などで安心して車を留めておける公共の駐車場を完備してほしいと思えます。



団体職員
水野加代子
昭和29年生
(山王)

●自分の生きかたを振り返り、今までは違った意味での八方美人になりつつも、自己を見失わずに多くのことに挑戦していきたい。
●春夏秋冬、四季の色どりをかもしだす朝日岳に代表される自然の美しさ、少しもの足りなさを感じる場合もあります。困りのものに感化されていない点に魅力を感じます。

●道路整備、老人福祉、就職難など施策のものはもちろん、朝日町の魅力を顕著した町政を望みます。



教員
小杉邦夫
昭和17年生
(幸町)

●勤務先が遠い関係上、朝日町に少々関心が希薄になりがちなものでした。この年を機会に関心を高め、何らかの形で町政に参加出来るよう心掛けたいと思います。また、私自身の仕事の構築の基礎を固めたいと思っています。

●朝日町は自然災害も少なく恵まれた山、海、川の景勝の地が多く、学術的に価値の高いものがあります。そして、それらが十分とは言えめでも良く調査され、保護されて町民に潤いを与えていると思えます。
●公共施設等の充実と長期的展望のもとで発展性のある都市計画を実行してほしい。さらに自然公園、運動公園を充足、整備し、文化遺産の愛護活動を拡大するよう望みます。



主婦
篠田律子
昭和17年生
(草野)

●特に決意する事はありませんが、家庭をいこの場として張りのある生活をしたしたいと思います。
●「自然の美」だと思えます。公害もなく明るい朝日町をいつまでも育ててほしいと思えます。

●子供達の大きな遊び場や生活が安定しない主婦のための職場や相談所など望んでいます。



自営業
加藤昇一
昭和5年生
(宮崎)

●健康第一に、悔いのないより充実した生活を送れるよう頑張りたい。
●優れた自然環境に恵まれている点が一番大きな魅力です。
又、文化財の豊富な事も、見逃がせない魅力の一つかと思えます。



農業
林 兼子
昭和5年生
(三枚橋)

●ただがむしゃらに働くだけの働きかあさん。から、今年は少しでも脱皮したいと思えます。昨年から地区の婦人学級の「おせん茶」のグループに加わり楽しみがふえました。これからも進んで機会を求めて潤いのある毎日を過ごしたい。
●狭い地域ながらも豊かな自然環境に恵まれ、町のあらゆるところに埋もれた文化遺産が多く、又公害の少ない町として、他の町のように華やかさはありませんが、この捨てがたい魅力が私たち町民の心のふるさとなるのではないのでしょうか。

●馬場整備により、公園の大規模化、農村公園の実現など景観は一変します。

したが、米の生産調整には今後、押しつけでなく、きめ細い豊かな農政をお願いします。



社員 水島 正

大正7年生 (境)

●昨年は右往左往する騒然とした年でした。今年は馬年にあやかり、不況を蹴ちらし勇ましく突っ走り昨年穴埋めができるような良い年にしたい。

●『オイ』と声をかけてお互いが通じる町に強い愛着を覚えます。

又、浜の朝、山の朝が一日の活動力を促してくれるそんな自然の美しさも大きな魅力です。

●群をぬく町政を期待するものではありませんが全て運営次第かと思えます。今、新年度予算が編成され、新しい町の地図が作られようとしています。一人ひとりの小さな願いが通じ少しでも不満が減少するように一段とご努力を願うものです。



農業 七沢 ハル

大正7年生 (小在池)

●朝のテレビ体操と、歯みがきを終った後のコップ一ぱいの水を飲み今年も健康に暮らしていきたい。

●海と山に囲まれた自然が好きです。また、山の豊富な湯と、石段の上にある観音さまにお参りできるしあわせは本当に素晴らしいです。

●福祉センターを利用したいが交通の便が悪く利用しにくいので、またバスが走るようにしてほしいです。



無職 山崎 安信

明治39年生 (中町)

●健康づくりにと朝六時三十分からやっているラジオ体操を今年も休みなく続けたい。

●史蹟に富み、風光明媚な観光の町に愛着を感じます。

●老人福祉センターの年度内の着工を望みます。



農業 右井 つい

明治39年生 (下野)

●かぜをひかないように注意し、健康で暮らしたいと思っています。

●山が大好きです。春と秋の山菜採りは気持ちのいいものです。

●年寄りが休憩したり、話をしたりできる施設を地元で造ってほしい。



無職 岡本 源治

明治27年生 (東草野)

●年寄りなので難しい事はわかりませんが、新しい年を迎え、健康に留意し、長生きしたいと思えます。年金ももらい医者へいっても無料だし先に亡くなられた若い時一生けん命働いた仲間に申しわけないような気が

がします。
●海あり、山あり、川あり、自然に恵まれた我が町、しかしもっとこの自然を利用し多くの人が集まるように考えて下さい。
●海岸も昔からみると変わりまじた。海岸侵蝕を止めるのも必要だと思いますが海を活用する事も大切だと思えます。

新春文芸

朝日町楯句会

初春の句

- 結髪むすぶの娘の香かほくわしき初はつ池原喜美子
- 荒海あらいの濃淡たかし整初ととの板沢 茂
- 一幅いっぷくの梅花ばいげ図壁ずへいに今朝けさの春梅沢 素火
- 初馬はつば嶺の山の寝ねこけたる尾崎 治童
- 初日はつひ影かげ近ちかく人の声こゑ晴はれて片桐 雪女
- お年おとし玉子たまご等らいくたびも数かずえおり近藤 京子
- 忍しのぶべくくをを持もつや去年こぞ今年ことし清水 直樹
- 初日はつひかけ心こゝろぬくもる目めとなりぬ双川 和夫
- 漉しき紙かみののほふ初はつ日の墨すずをする長崎哲山人

- 出幾い重連じゆうなり染ぞめて初はつ日の出七沢 麗子
- 大いなる輪わをかかくく初御空はつみそら浜田 一男
- 後線ごせんの雲うはら色いろに初はつひかり舟本伊次郎
- 四方よの春はる今日けふの命いのちの尊たくも平坂 久雄
- おもむろに正座せいざきびしく筆始ふではじめ本田千代乃
- 質状手しつじょうてに友ともの住すむ街地まちぢ図ずさぐる水島 末吉
- 屋根越やねこしの大樹おおいの梢しんも初景色はつけいしき森野 稔
- 湯上ゆかりの子こ等に春着はるぎを森岡かや乃
- きせて見る雪ゆきを踏ふむ我が足跡あしあとも去年こぞ今年ことし松倉 悟童

うまに因んだ 諺言・格言

- 諺言格言は、簡にして要を得た処世訓で、諷刺あり、詠嘆あり、庶民の喜怒哀楽を尽した人間生活の智慧から生れたものである。
- 諺言格言は中国から入って来たものが多く、史記、論語、易経ほか約百二十数種の書物から出ているが、日本独自のものも少なくない。
- ことしはうま年に因んで、日常生活に使われる諺言や格言の中から「馬に関するもの」を拾い上げてみた。馬は、ときには神仏化される面もあるが、諺言格言の中の馬はほとんど謙遜的形容詞として使われている。また、日常最もよく使われる優秀を表す形容詞として「駄」と「駿」がある。
- 駄弁、駄作、駄菓子、駄足、駄優、などあるが、その多くはへりくだりの形容詞として使われる。
- このことは午年生れの者にとつていささか物足りない感じがしないでもない。
- 1 天馬空を駆ける
- 2 うまが合う
- 3 馬には乗ってみよ人には添うてみよ
- 4 犬馬の勞をとる
- 5 竹馬の友
- 6 瓢箪から駒が出る
- 7 南船北馬
- 8 牛を馬に乗り替える
- 9 将を射んと欲すれば先ず馬を射よ
- 10 牛は牛づれ馬は馬づれ
- 11 人間万事塞翁が馬
- 12 馬耳東風(馬の耳に念仏)
- 13 駕馬に鞭打つ
- 14 馬齢を重ねる
- 15 生き馬の目を抜く
- 16 尻馬に乗る
- 17 馬脚をあらわす
- 18 瘦馬に重荷
- 19 鹿を差して馬となす
- 20 死馬の骨を買う
- 21 柱馬の高あがり
- 22 風馬牛も相及ばず
- 23 夕立は馬の背を分ける
- 24 意馬必衰
- 25 牛飲馬食
- 26 泣いて馬しよく斬る

小学校は三校案

学校教育環境整備

審議会答申でる

諮問

答申

朝日町の学校教育環境整備について広く意見を求めるため、五十二年、朝日町学校教育環境整備審議会が発足し、町長の諮問事項について、審議を重ねた結果、このほど結論が出され、朝日町学校教育百年の方向を示す答申が行われましたが、諮問、答申事項は次のとおりです。

町長諮問

当町の小・中学校については、校舎の老朽と、一部狭隘も予想されることと複式及び小規模校の存在がみられる。学校教育の重要性にかんがみ、これを改善し、より一層の教育効果をたかめることが最も喫緊のことと考慮される。当町全体の立場からこのための方途をいかに講ずべきか意見の集約をいただきたい。

審議会答申

朝日町学校教育環境整備については、その教育効果をたかめるためには、文部省の示す基準に従って複式学級

及び小規模校の解消と泊小学校の大規模化する所をなくするよう次の三校案が適当と考えられる。

設置予定地としては、第一小学校(又は東部小学校)は横尾付近の適地、第二小学校(又は西部小学校)は国鉄沿線の北側で泊市街地の西方の適当な場所、第三小学校(又は南部小学校)は柳田、不動堂の付近が適当と考えられる。

なお、具体的な立案にあたっては、地域住民と充分話し合いを行い慎重を期するとともに通学区域の一部変更と、特に遠距離通学のためのバスの配置等には充分検討し配慮された。

以上答申するにあたり、当町の小学校においてはすでに校舎が老朽し危険度も増増の傾向にあるものが多いので、その改善のためにも早急に統合の計画を立案しその実現をみるよう強く要望します。

なお、中学校の統合については、住民の意思を十分に付度し第一次答申のとおり早急にその実現を図り中学校教育の向上を期するよう努力されたい。

民生・児童委員決まる

朝日町では、さきに民生・児童委員の改選が行われ、次の方々が委員に選ばれました。民生・児童委員は厚生大臣から委嘱(任期三年)をうけ、住民のみなさまの福祉増進のため、相談相手となって活動されます。

委員の選出地区と担当区域はつぎの通りです。

境地区

水上 武雄 大平

水島 捨男 境一、二、三区

水島ナリエ ヌ四、五区

水島ミキエ ヌ六、七区

土師 清次 ヌ八、九、十、十一区

宮崎地区

扇谷興兵衛 宮崎一、二、十三組

水島 清一 ヌ三、四、五組

水島二三子 ヌ六、七、八組

嘉義 実 ヌ九、十、十一、十二組

笹川地区

折谷 信一 笹川第一部落

小塚 秀然 ヌ第二部落

小林 邦司 ヌ第三部落

泊地区

島端 民子 元屋敷、上、下横尾

小杉 真作 温泉町

田町 橋向町、宮本町、神

野島 武吉 東、中三浦町

田中 民子 西三浦町、弥生町

松倉 悦子 東下町、西下町

梅沢みのり 中町、大屋

寺西モトエ 本町、松涛町

大平 米蔵 上町

寺田利太郎 清水町、若草町

米田 蕃 東草野

酒井 敬三 幸町、西町

東 とめ 沼保、荒川一、五丁目

大和嘉次雄 荒川二、三、四丁目

上杉ハルエ 末広町

平崎 栄作 上、中、下道下

大谷 民子 平柳一、二区、口東町

五箇庄地区

山本 寛正 桜町一、二、三班

宇田 正雄 ヌ四、五班

高林 なつ ヌ六、七班、旭ヶ丘

藤条 昇文 月山

小島かつる 草野

長谷川年男 赤川

南保地区

柚木 武雄 小更、町南保

坂藤 重雄 越

江洲 泰子 竹の内、池谷町

近藤 慶次 長野、高畠

更田 和作 谷、石谷、池の原

松原 喜吉 蛭谷

山崎地区

青島 利之 湯の瀬、羽人

仙名 敏子 辻岩崎

七沢 景明 小在池、棚山

上 幸太 越、坊

山崎 禅龍 細野、山王

山口 秀広 山崎新

上村 益治 殿町

大家庄地区

林 得明 三枚橋

大久保 武 柳田、井の口、不動

今月の表紙

古い時代に石を空に投げ上げて手にうけ、何回失敗せうらなから願いがかなうかとうらなつた。これを「石なご」といい、お手玉のはじまりである。今もそのなごりが神社の鳥居の鳥木や貫に乗っている小石である。

お手玉の呼名も色々あり、富山県では、石ナゴ、オヒトツ、ジャツクル等とよび、京都ではおこんめといっている。

朝日町では多いのは英語のジャツクルからきたざっくりの呼名である。表紙の歌は明治中頃の歌であるが歌も部落や時代によっても色々変わり、お一つお一つお一つお一つお一つ、おっさらいや

唱歌の川中島の西条山は霧ふかし築摩の川は波あらし、はるかに聞こゆる物音は逆まく水かつわものか、のぼる朝日に旗の手のきらめく暇にくるくるくる小豆の入った

もの、小石のもの数珠玉の実を入れたもの、ほうり上げ手でうける音と手ざわりは日本の手ざわりの味であり遊びである。

写真は蛭谷にて



水田利用再編対策が

実施されます

1 水田利用再編対策のねらい
最近、国が管理している米の在庫は増える一方で、このままでは来年の秋には四百数十万トンに達する見込みです。このため、米の需要と供給のバランスがくずれ、食糧制度を維持していくことが困難になってきています。

このようなことから、国では米の需給のバランスをとるため、米飯給食などによる米の消費拡大に努めるとともに、米の生産調整を強める方針を出しました。
これによって、米にかたよった我が国の農業のあり方を改善し、米以外の農産物についても需要の動きに応じられるように、水田を他の農産物の生産にも利用できるようにしようとするものです。

2 実施期間
昭和53年度から十年間実施されますが、そのうち55年までの三カ年を第一期として転作面積を変えない方針です。

3 転作面積の配分

富山県の配分面積は五千九百九十

ヘクタール、県から朝日町へは百二十六・五ヘクタール（通年施行分十二ヘクタールも含む）となつています。

本町への転作目標面積は町全体の水田面積の七パーセントにあたり、一ヘクタール耕作している農家であれば、おおむね七アールの転作をしなければなりません。

町では一月下旬に、集落ごとの目標面積を仮配分し、集落ごとの集約的な転作を行うよう、集落の話合いにより調整してもらい、これらをまとめたうえで二月末日までに、各農家ごとに配分を行う予定です。

4 推進方法

(1) 集落ぐるみの転作
集落ごとに全農家の参加により、みんなで話し合い、集落ごとの転作計画をつくり、これに基づいて転作を行うこととなります。

計画に従って転作の目標を達成すると特別の加算金（計画加算金）が交付されます。

(2) 管理転作

水田を農協に預ける管理転作制度もあります。

この制度は、農協と預託契約を結び実施するもので、農協は預った水

田を転作希望者に使用のあつせんをするか、転作希望者がいない場合には水田を善良に管理する仕組になっています。これらの管理費用は預けた農家が農協に支払わなければならない。

(3) 土地改良通年施行
今までどおり奨励金が交付されます。

5 転作奨励金

左の表の通りです。

転作奨励金の種類 (10a 当り)

区 分	基 本 額	計 算 加 算 額
	千円	千円
特定作物 (大豆、飼料作物、麦等)	55	10~20
水年性作物 (果樹等)	40	7~13
一般作物 (野菜等 上記以外の物)	40	—
土地改良通年施行 管理転作	40	7~13

(転作の場合のみ)

6 転作が未達成の場合

転作に協力して目標を達成した人との公平を保つため、未達成の人には、翌年度の転作面積に未達成分を上せし、又、その分を米の予約限度数量から差し引くこととなります。

7 その他

作物の産定に当たっては、地域の実

情を十分に考えて、定着しやすく、できるだけ奨励金の多い作物を選ぶようにしてください。

水田利用再編対策に関することは、役場産業課農政係へお問い合わせください。(電話三三一一〇〇内線三十三番)

昭和五十三年

農業基本調査の

おねがい

来る二月一日には、県下一せいに農業基本調査が実施されます。

この調査は、農業問題の変動に対処するため富山県統計調査条例及び富山県農林水産業統計調査規則により実施される大規模な調査で、その結果は、県や市町村はもとより農業団体等広範に利用される極めて重要な統計調査です。

調査員がお宅へ訪問し、調査事項についておたずねしますのでご協力をお願いいたします。

農業基本調査員

氏 名(担当)

- 藤田治男(舟川新)、林正康(三枚橋)、大久保光政(大家庄)、水井秀雄(柳田)、四杉嘉造(不動堂)
- 林一雄(横水)、沢崎幸三(井の口)、高島幸雄(高野)、松田弘(下山新)、能島友行(下山新)、金井志郎(金山)、清水茂(金山)、大久保喜一(窪田)、青島加次(羽入)、長津尾(羽入)、蓬沢豊二(辻岩崎)、安達政雄(辻岩崎)、水野幸正(辻岩崎)、黒崎辰次郎(越)

本町の人口

男	9,251人
女	10,358人
計	19,609人
世帯数	5,047戸

(53年1月1日現在)

- 、七沢政重(坊)、川端券吉(小作池)、小山秋次(花房)、九里正憲(棚山)、七沢行久(山崎新)、辻栄吉(細野)、森岡武義(山王)、大森周三(殿町)、鹿熊和彦(殿町)、本田正一(殿町)、松下源二(小更)、勝原龍(越)、坂藤正義(越)、南部稔(町南保)、小林茂(竹ノ内)、土井宏司(高島)、清水英信(高島)、谷孝一(谷)、近藤健作(長野)、殿村美奈(石谷)、谷口政一(蛭谷)、谷口宗次(蛭谷)、広田啓作(赤川)、浜田一男(草野)、吉江輝寛(草野)、河村吉雄(月山)、西村美則(月山)、山中石男(桜町)、南茂義雄(桜町)、高橋勉(上横尾)、越坂邦夫(下横尾)、田中義一(三浦町)、大村守(沼保)、折谷邦男(大屋)、岡本繁治(東草野)、水島繁(東草野)、岡本勲(清水町)、大村光勇(荒川)、平崎久松(道下)、平野幸一(平柳)、西川重成(平柳)、長井正敏(笹川)、竹内徳二(笹川)、長井宗五郎(笹川)、長井又儀(笹川)、折谷明夫(笹川)、長井賢男(笹川)、近江聡(元屋敷)、水島文治(宮崎)、水島行雄(宮崎)、加藤助基(宮崎)、水島スミ子(境)、水島育子(境)、水島一行(境)、室敏三(境)、海老辰雄(境)、根建武男(大平)、川瀬茂(下野)、沢本昭二(藤塚)、菅井孝作(横道)

郷土の伝説

(22)

大所神社の 成政の馬鞍

境(大平)と姫川

今から約四百年前、富山城主の佐々成政は富山城を出て立山のザラザラ越えを越えた有名な話がある。立山を越え諏訪を通り浜松の徳川家康に会い、もとの道に戻ったというのである。このルートも色々の説があり、立山の別山から内蔵谷を通ったという説、佐々成政は内蔵助といつたのでこの説がある。また、実は境川の上流の太平を通り上野を経由して信州へ出たともいわれている。

この大平、上野ルートにこんな伝説がある。このルートは昔より「上野越え」といわれ越後、信州への山越え道として多く利用されたという。

上野より大きく山をいくつが越えた所に大所という部落がある。車では朝日町より約一時間半、親不知、糸魚川、姫川温泉、そこから右に山深く入った所である。



写真は、大所神社

ありがとうございます

ございます

寄付・寄贈

▽大家庄 岡田三郎氏より教育文化に役立ててほしいと町に十万円寄付がありました。

▽小川中学校同窓会(会長藤田絃一氏)より小川中学校へコンサートピアノ一台

善意の預託

朝日町善意銀行

社会福祉のためにと、次のかたがたから善意の預託がありました。

▽境 とく名 一円玉二千四百四円

▽荒川 浦田与三次さんより三千元

▽荒川 浦田美和さん、朱美さんより小使を節約してためた金の一部をそれぞれ千五百円と千円

▽山崎婦人会より不用品交換会寄付金の一部五千元

▽東草野 米川つねさんよりつり銭をためた、一円玉など合計九百九十八円

▽月山 幸田幸雄さんより一円玉など合計二千八百五十八円

おめでた おくやみ

(昭和五十二年十二月十五日現在)

おすこやかに

(赤ちゃん誕生)

宮崎	田中今朝明	三男	幸弘
笹川	折谷時夫	二男	貴幸
上町	赤川正義	長女	寿子
上町	南保昭男	二女	恒美
東草野	佐渡昇	長男	昇司
日東町	鈴木孔三	長男	康之
桜町	長谷忠則	二女	梢
桜町	伊藤幸男	長女	志乃
草野	佐渡弘	長女	祐子
町南保	宇田栄造	二男	康隆
大家庄	大久保光政	長男	光太
大家庄	松平守正	二男	司
不動堂	川上史朗	二女	史子
金山	大井太楨	長男	良太
金山	住吉一久	長女	亜希子
舟川新	藤井勲	三女	静恵

おしあわせに

(結婚)

○笹川	竹内寿実
○黒部市	若宮加代子
○温泉町	山田実
○細野	辻光子
○東三浦	波間隆
○新島	伊野きぬ子

おくやみ

(死亡)

○東草野	寺崎道義
○魚津市	中山百合子
○松涛町	沢岡久夫
○松涛町	沢岡美幸
○荒川一	小杉慎悟
○富山市	喜多本雅子
○上道下	尾山好正
○石川県	奥出讓子
○月山	上野和雄
○大屋	荒尾美美子
○草野	篠田昭雄
○入善町	池原春子
○蛭谷	長崎勇二
○横水	板本寿美子
○山崎越	久保田良一
○蛭谷	松原笙子
○大家庄	石橋一夫
○新潟県	上原アヤメ
○横水	沢井一男
○入善町	袖野隼子
○宮崎	水島四方吉(68)
○宮崎	竹谷津太郎(65)
○笹川	長井竹造(69)
○清水町	松永シン(79)
○荒川二	伊藤ちさ(72)
○桜町	近藤きく(81)
○月山	長谷川きくの(62)
○赤川	佐渡佐与(71)
○高田	中島与三吉(74)

おしらせ

1月(睦月) 旦 荷草き日
 1日 元初七鏡成や 開の入
 2日 日 人ぶ
 7日 日 開の入
 11日 日 開の入
 15日 日 開の入
 16日 日 開の入

△今月の税金▽
 *町県民税(第四期分)
 *国民健康保険税(第四期分)
 *償却資産の申告書の提出は一月です。はやめにしましょう。

懸賞論文募集

消費者の権利

(国民生活センター)

国民生活センターでは、消費者保護基本法制定十周年を記念して次の要領により懸賞論文を募集していただきます。振って応募ください。

◇テーマ 消費者の権利

◇原稿 枚数は四百字詰原稿用紙七枚以上十枚以内とし、氏名、住所、年齢、職業、電話番号を明記

話番号を明記

◇入選 特選作 一編、賞金五万円。入選作 三編、賞金三万円。佳作 若干、記念品贈呈

◇発表 昭和五十三年五月中旬

◇発表 昭和三十一(一〇〇)へお問い合わせください。

◇発表 昭和三十一(一〇〇)へお問い合わせください。

◇発表 昭和三十一(一〇〇)へお問い合わせください。

◇発表 昭和三十一(一〇〇)へお問い合わせください。

相談ごとご案内

△行政相談

日時 毎月第1火曜日
 午前10時～午後3時
 場所 朝日町福祉センター
 相談員 川上嘉一(☎3-0050)

△人権法律相談

日時 1月18日(水)
 午後1時～午後4時
 場所 朝日町福祉センター
 相談員 人権擁護委員
 上田憲二(☎2-0127)
 佐田祐芳(☎2-2164)
 小沢浩(☎3-3000)

△心配ごと相談

日時 毎週火曜日
 午前10時～午後3時
 場所 朝日町福祉センター
 (☎3-0576)

△交通事故巡回相談

①日時 第3水曜日
 午前10時～午後3時
 場所 黒部市役所
 ②日時 第3水曜日
 午前10時～午後3時
 場所 県魚津総合庁舎内
 魚津地方県民相談室

調停制度のご利用を

(朝日簡易裁判所)

お金を貸したが、返してくれない、貸した家を明け渡してくれない、自動車にはねられてけがをした。いろいろな争いや請求について、公平に解決する裁判所の手続の一つとして調停制度があります。

その手続についての相談は、左記の裁判所で行っておりますからご利用ください。

朝日簡易裁判所および富山家庭裁判所朝日出張所(朝日町東草野四六六の八)

火の用心

積雪時の除雪と火災予防

火の用心

本格的な積雪期に入り、消防車及び救急車の運行に支障がでることが多分に考えられます。特に市街地では積雪状況を見て町内の一斉除雪等ご協力をお願いします。

また寒さが厳しい毎日ですが、石油ストーブ等の暖房器具の取り扱いを誤ると一瞬にして大惨事になります。石油、ガス器具等の取り扱いに充分注意して、火災発生防止に努めるとともに次の事項に留意して下さい。

- ・屋根に雪が多く積ると思われるときは早目に降すこと。
- ・屋根雪等を道路に降ろしたらすぐ整理して消防車、救急車が通行できるようにすること。
- ・消火栓、貯水槽は町内を守る大切な水利ですので周囲の除雪を励行すること。
- ・火災の通報をするときは、場所及び目標物を明確に連絡すること。また救急車を要請するときも場所、目標物、病人の状態を明確に連絡をすること。

道路除雪にご協力を

路上駐車はやめましょう
 除雪作業の最大の障害となりますので、警察の取締りが強化されます。また、悪質な場合は付近の除雪を中止し、接触など損傷が起きても補償できないこととなります。

沿道の被害防止に標識を
 除雪車の被害を受けやすい道路端の物件や場所には、ヤオに赤布をつけた標識をお願いします。

電線にご注意

- ・雪おろしするときには、電線に注意して下さい。
 - ・電線に木の枝がふれていませんか。
 - ・切れた電線には手をふれないでください。
- 北陸電力(株)泊営業所
 (☎三〇〇二八)



・火災が発生すると一一九番(火災救急専用電話)での問い合わせが殺到しベルが鳴り止むひまがありません。もしこの間に救急要請等があったとしても話し中となり大切な人命が失われることも考えられますので、火災の問い合わせに一一九番を回されても応じませんので一般加入電話三〇〇九番でお問い合わせ下さい。

みんなの保健

(決められた日時に受けられない方は)
最寄りの会場で受けてください。

< 1 月 >							
事業	対象者	日(曜)	時刻	対象地区	会場	備考	
予防接種	百日咳、ジフテリア 破傷風、 混合予防接種	2歳～4歳 (今までに受け ていない人)	18(水) 午後 1.00～3.00	境、宮崎、笹川 泊、五箇庄、南保	福祉センター	母子手帳 持参	
			18(水) 午後 1.30～3.00	南保、山崎、 大家庄、五箇庄	農業センター	母子手帳 持参	
母子保健	母親学級	妊婦全員	24(火) 午後 1.00～3.00	全地区	福祉センター	母子手帳 持参	
	3か月児検診	52年10月生	26(木) 午後 1.00～2.00	全地区	福祉センター	母子手帳 持参	
	9か月児検診	52年4月生	26(木) 午後 2.00～3.00	全地区	福祉センター	母子手帳 持参	
成人病予防	股関節脱きゆう検査	52年4月生	26(木) 午後 2.00～3.00	全地区	泊病院	検査料 1,200円	
	成人病検診	30歳以上	17(火) 午後 1.30～3.00	羽入地区	羽入公民館		
			20(金) 午後 1.30～3.00	舟川新地区	舟川新公民館		
			27(金) 午後 1.30～3.00	月山地区	月山公民館		
< 2 月 >							
母子保健	百日咳、ジフテリア 破傷風、 混合予防接種	2歳～4歳 (今までに受け ていない人)	15(水) 午後 1.00～3.00	境、宮崎、笹川 泊、五箇庄、南保	福祉センター	母子手帳 持参	
			15(水) 午後 1.30～3.00	南保、山崎 大家庄、五箇庄	農業センター	母子手帳 持参	
成人病予防	3歳児検診	自49年8月生 至49年9月生	21(火) 午後 1.30～3.00	全地区	福祉センター	母子手帳 持参	
成人病予防	健康相談	希望者	3(金) 午後 1.00～3.00	全地区	黒部保健所 泊支所		
	婦人検診	希望者	16(木) 午後 1.30～3.00	境地区	境公民館		

これからの健康づくり

動脈硬化の予防 料理に——もっと植物性油を

動脈硬化は、老化の一つのあらわれです。動脈硬化の速度をおくらせたり、進行を阻むためには、栄養、運動、休養の調和をとって、若さを保つ生活を心がけましょう。

△食事のとり方▽

コレステロールは動物の肝臓をはじめ、内臓、卵に多く含まれています。丸ごとたべる小魚や、貝類、卵、たらこ、すじこなどは注意したほうがよいでしょう。このほか、いか、たこ、えびなども含有料が多く、また、卵も多用するカステラなどのケーキ類も盲点です。たべすぎないように。

△植物性油のすすめ▽
同じ脂肪でも、植物性脂肪のほうは、血液中のコレステロールを減らす働きをし、動脈硬化に対してよい効果があります。肥満治療のためのエネルギー制限食を指示されている人のほかは、植物性油をもっと料理に使うようにしましょう。

△避けたら動物性脂肪▽
肉や魚などは、コレステロールそのものの含有料は少ないのですが、そのあぶら身が、コレステロールをふやすので問題です。肉のあぶら身、コンビーフ、ベーコン、卵黄、生クリーム、まぐろのトロなどは避けましょう。

△かぜをひかないための食事▽
かぜをひかないようにするには、ビタミンCが必要です。新鮮な野菜サラダ、おろし大根、さつまいもなどの一品をつけ、食後にはミカンを一つ必ず食べるようにして、ビタミンCの補給を。

そのほか、ビタミンAは粘膜を強めて、鼻やのどからウイルスが浸入するのを防ぎます。油で料理した青菜やにんじん、レバー、バターを多くとるよう心がけましょう。

△コレステロール▽

血液中のコレステロールが一定量以上にふえると、長い間に血管にたまり、動脈を硬化させることはよく知られています。

コレステロールのほとんどは、体内で作られますが、食品に含まれる動物性脂肪は体内でコレステロールをふやす作用をします。

△砂糖はほどほどに▽

砂糖は、成分の上では糖質ですが